

<報道提供>

令和3年7月30日
危機報道官
電話 054-221-2316

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第37報)
(7月30日 20時00分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点（海岸から約2km上流）から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 災害対策に係る法令適用

- 3日12:00 県災害対策本部を設置
自衛隊に派遣要請
- 13:30 消防庁に緊急消防援助隊の出動要請
- 15:30 災害救助法の適用を公示
- 9日 被災者生活再建支援法の適用を公示
- 23日16:30 緊急消防援助隊の順次引揚げ

3 人的・物的被害の状況

(1) 人的被害

(※)「行方不明者」「死者」の区分名は、「消防庁災害報告取扱要領」による区分)

- 死者：22名
- 行方不明者：5名
- 中等症：3名
- その他：25名
- 避難者：328名
 - ・金城館184名
 - ・ウオミサキホテル144名

(2) 物的被害

被害棟数：131棟（128世帯、216名）

4 ライフライン等の状況

○水道

区 分	件 数
今後の復旧について所有者と協議が必要な件数	71件
復旧不能件数	198件

※上表以外の家屋は復旧済み

○電気、通信、ガス

被災家屋以外は復旧済

○道路

路 線	区 間	規 制 状 況
国道135号	熱海市東海岸町（ビーチライン入口）～神奈川県境（門川交差点）	<u>通行止め</u> を解除 （7月29日15時解除） <u>当面の間、下記いずれかを観測した場合は通行止め。</u> <u>①降 雨 量：時間雨量10mm以上または連続雨量50mm以上</u> <u>②地盤伸縮計：移動量2mm/h以上</u>
熱海ビーチライン	全線	<u>7月30日から通常どおり有料通行</u>
伊豆スカイライン	全線	8/8まで（オリンピック期間中）無料開放。

○路線バス

路 線	区 間	規 制 状 況
東海バス 熱海駅～伊豆山・湯河原駅線	熱海駅～伊豆山・湯河原駅	<u>・熱海駅～湯河原駅は再開</u> <u>・熱海駅～伊豆山折り返し便は運休(当面の間)</u>
東海バス 七尾原循環	熱海駅～熱海駅 伊豆山神社前、七尾団地、七尾原経由 (熱海ビーチライン経由)	・一部経路を変更し運行中 ・桃山～伊豆山小学校間は運休(当面の間)

路線	区間	規制状況
東海バス 伊豆山循環 紅葉ヶ丘～郵便局・熱海駅	紅葉ヶ丘～熱海駅	紅葉ヶ丘～熱海郵便局～熱海駅間運行中 熱海駅～逢初橋・小学校入口・伊豆山神社前～熱海駅は運休(当面の間)
東海バス 伊豆山循環 熱海駅～紅葉ヶ丘・ひばりヶ丘線	熱海駅～紅葉ヶ丘／ひばりヶ丘	熱海駅～咲見町～紅葉ヶ丘／ひばりヶ丘間運行中 熱海駅～伊豆山神社前・小学校入口・逢初橋～熱海駅は運休(当面の間)

5 主な生活再建支援

(1) 被災者の住宅確保

公営住宅等 102戸
民間住宅 74戸 計176戸

7月30日まで住宅相談窓口を熱海市役所に開設

7月30日から入居申込みを熱海市総合福祉センター3階で受付を開始

(2) 被災証明書等の申請受付・発行

○被災者相談窓口の開設

時間 令和3年7月26日(月)～8月10日(火)

午前9時～午後4時(土日祝は午前9時～正午)

場所 熱海市総合福祉センター3階

○被害が明らかな家屋のうち事前調査が判定できたものについて、7月21日から先行して被災証明書等の申請受付・発行

(3) 災害ボランティア

7月21日からの累計96名

6 県及び市町の職員派遣状況

住家被害認定調査、罹災証明交付、避難者の健康管理の支援等の

ため、熱海市に対して県職員及び県内市町職員を以下のとおり派遣。

県 17名、市町 31名 (20市町) 計48名 (7月30日)

7 関係機関の派遣状況

○自衛隊

活動隊	活動人数	備考
陸上 自衛隊	1 隊 9 名 資材運搬車 3 台 小型ショベル ドーザ <u>5</u> 台	被災現場一帯で重機を活用しつつ活動中
	1 隊 44 名	新幹線北側上流部の住居位置にて集中的に活動
	1 隊 49 名	新幹線北側下流部の住居位置にて活動
	その他 <u>86</u> 名	活動準備及び浄水管理センターにて部隊の活動を統制及び支援
小計	<u>188</u> 名	
航空 自衛隊	0 名	入間・浜松基地等で待機
合計	<u>188</u> 名	

○消防

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	熱海市消防本部	85名	被災現場等で活動中
	熱海市消防団	180名	
	静岡県大隊	約 <u>40</u> 隊 (約 <u>160</u> 名)	警察、自衛隊、民間、と協力し被災現場で活動中
合計		約 <u>425</u> 名	

・活動予定

搜索活動 6:00～18:00 各隊活動状況報告 17:30
 関係機関調整会議 18:00 作戦会議 19:00

○海上保安庁

伊東事務室のゴムボートによる搜索

○警察

区分	人数	備考
県警	約50名	県機動隊、方面機動隊

○その他の関係機関の活動状況

機関名	活動状況
内閣府調査チーム	<ul style="list-style-type: none"> 被災者支援等に関する各種調整（熱海市7名対応中） ISUTによる災害対応機関の情報集約支援活動（遠隔対応に移行）
法務省矯正局特別機動警備隊	<ul style="list-style-type: none"> 7/18～矯正局特別機動警備隊長以下19名及び車両2台派遣 7/18～伊豆山地区の搜索活動エリア近辺の交通規制及び立入制限区域の規制等の支援活動
国土交通省中部地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> 7/3～静岡県庁へリエゾン派遣（7/30：1名対応中） 7/3～静岡県熱海土木事務所へリエゾン派遣（7/30：2名対応中） 7/3～熱海市へリエゾン派遣（7/30：2名対応中）
静岡地方气象台	<ul style="list-style-type: none"> 熱海市災対本部会議等において気象解説を実施 アメダス臨時観測点「熱海伊豆山」運用
日本赤十字社	7/7～31 ころのケア班3名をホテルに派遣、関係機関と連携し避難者からの相談に対応、避難者のストレス軽減を図る。
静岡県医師会	高齢避難者の体力低下、ADL低下に対応するため、7月21日より、医師並びにリハビリテーション専門職を構成員とするJMAT（日本医師会災害医療チーム）1チームを派遣

機関名	活動状況
静岡県看護協会 災害支援ナース	<u>7/6～7/31 県との協定（災害時の医療救護活動に関する協定書）に基づき、避難所の健康相談</u> <u>対応等を実施</u>
静岡県公認心理師協会	7/20～ 避難者の精神面での健康管理のため、公認心理師を派遣
<u>静岡県精神保健福祉士協会</u>	<u>8/3～ 精神保健福祉士を派遣予定</u>
静岡県建設業協会	<災害応急対策> ・重機による土砂、瓦礫の撤去・運搬（熱海港埋立地へ） ・泥状土砂の固化処理 ・伊豆山港における堆積土の状況調査
環境省	関東地方環境事務所から1名（7/6～7/19常駐、7/20～隔日）、熱海市へ派遣対応中（災害廃棄物処理に関する助言）
静岡県産業廃棄物協会	県との協定（地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定）に基づき、災害廃棄物の仮置場の運営、運搬・処分等の業務を実施

8 参考（義援金）

機関名	概要
日本赤十字社静岡県支部及び静岡県	（期間） 7月9日～10月31日 （方法） 静岡銀行への振込
社会福祉法人静岡県共同募金会	（期間） 7月8日～10月29日 （方法） ゆうちょ銀行への振込
熱海市	（期間） 7月5日～ （方法） 三島信用金庫・静岡銀行への振込、災害支援ふるさと納税、熱海市役所義援金箱